

## C2 中央環状線(内回り)小菅JCT合流地点



### 横転事故状況

- 平成20年5月に発生した、上記の事故発生ポイント(右曲がり)の制限速度は60Km/h、旋回半径(R)は140mで緩やかなカーブであるが、スピードの出しすぎで(90Km/h)でトレーラは左側壁に衝突、横転し、ドライバーは死亡しました。

### 注意事項

- 小菅JCTは、大型貨物自動車のドライバーが首都高速道路の中で最も走行しづらい場所と指摘するポイントであり、正面に急カーブを知らせる大型注意喚起看板が見えてきたらアクセルを緩め、十分に減速してカーブ進入に備えましょう。
- カーブ部ではカーブ警戒ゼブラ板等でカーブ形状を把握するとともに、合流にも注意しましょう。